

隠岐諸島におけるタンポポ類の分布について —「隠岐のタンポポを調べよう」調査結果より—

井 上 雅 仁*・三 島 秀 夫*・深 谷 治**・八 幡 浩 二***・野 辺 一 寛****

Distribution of Dandelion (*Taraxacum*) in Oki Islands, Shimane Prefecture – Result of “Let's Research the Dandelion in Oki Islands” –

Masahito Inoue, Hideo Mishima, Hajime Fukaya, Koji Yawata and Kazuhiro Nobe

Abstract

“Let's Research the Dandelion in Oki Islands” is the investigation of the distribution of dandelion (*Taraxacum*) in Oki Islands in 2012. In this research, 698 samples were collected and 3 kinds of dandelion were identified; *Taraxacum maruyamanum* Kitamura, *T. officinale* Weber ex F. G. Figg. and *T. laevigatum* (Willd.) DC.. Native dandelion (*T. maruyamanum* Kitamura) was dominated about 86 percent of all samples, on the other hand introduced ones (other dandelions) were dominated about 11 percent.

キーワード：在来タンポポ，外来タンポポ，市民参加，隠岐諸島，ジオパーク

Keyword: native dandelion, introduced dandelion, citizen participation, Oki Islands, geopark

1. は じ め に

隠岐諸島は、島根半島北の日本海に点在する島であり、2013年秋に世界ジオパークに登録された。その特徴として、大陸の一部であった時代や日本海形成の時代など様々な時代の地質がみられることのほか、隠岐固有の動植物が生息するなど独自の生態系をもつことがあげられている。同諸島は、離島であるため島固有の動植物が生息・生育することが古くから知られており、オキタンポポ *Taraxacum maruyamanum* Kitamura はそのひとつである。

世界ジオパーク登録に先立ち、地域住民の理解やその機運の盛り上げのための取り組みが求められてい

た。オキタンポポは島民にとって身近な植物のひとつであり、かつ、隠岐固有種というジオパークの価値を理解する上でよい素材といえる。そのため、島民参加によるタンポポ調査を島内で行うことで、隠岐固有の動植物について理解を深めるとともに、ジオパーク登録へ向けての機運の熟成に資すると考えられた。

隠岐諸島におけるタンポポの分布は、2005年の島内での分布調査（隠岐自然館、2006）、島根県内を対象とした調査（島根県立三瓶自然館・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団、2005；霞矢、2007；タンポポ調査・西日本2010実行委員会、2011；井上ほか、2012）などがある。これらの調査により、在来種であるオキタンポポのほかに、外来種であるセイヨウタンポポやアカミタンポポが侵入していることがわかつて

* 島根県立三瓶自然館, 〒 694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

** NPO法人隠岐しぜんむら, 〒 684-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士 5328-6

The NPO Oki Shizen-mura, 5328-6 Ama, Ama-cho, Oki-gun, Shimane, 684-0403, Japan

*** 一般社団法人隠岐ジオパークツアーデスク, 〒 685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫 4-61

The Institute of Oki Islands Geopark Tour Desk, 4-61 Menuki, Nakamati, Okinoshima-cho, Oki-gun, Shimane, 685-0013, Japan

**** 隠岐世界ジオパーク推進協議会, 〒 685-8601 島根県隠岐郡隠岐の島町港町塩口 24

Oki Islands Geopark Promotion Committee, 24 Shioguchi, Okinoshima-cho, Oki-gun, Shimane, 685-8601, Japan

いる。

市民参加によるタンポポ調査の歴史は古く、身边で見つけやすい植物であることだけでなく、在来種と外来種があり簡単なポイントで見分けられることから、1970年代から各地で行われてきた。また、地域の自然が改変されて失われていくと、在来種が姿を消し、変わって外来種が増えてくるといわれている（原沢・山田、1975；根平ほか、1977）。このような特徴を利用して、在来種と外来種の分布を調べることで、都市化や自然の残り具合を知る目安としても用いられてきた（タンポポ調査・近畿2005実行委員会、2006）。

本報告は、2012年の春に、隠岐諸島で行われた市民参加型のタンポポ調査で得られた結果をもとに、島内で確認されたタンポポの種類、それらの分布場所や特徴について取りまとめたものである。

なお、本報告では、植物の部位をあらわす用語として、タンポポ調査・西日本2010実行委員会（2011）を参考に、「タネ」は「瘦果」を、「花」は「頭花」を示す。また「雑種」という用語は、セイヨウタンポポ *T. officinale* Weber ex F. G. Figg. やアカミタンポポ *T. laevigatum* (Willd.) DC. など外国からやってきた種と二倍体在来種の雑種という意味で用いている。また「外来種」という用語は、セイヨウタンポポやアカミタンポポに上記の雑種を含めて用いている。

2. 調査地および方法

調査地

隠岐諸島は、島根半島から北に40km～80kmの日本海に点在し、4つの有人島と180前後の無人島からなる（図1）。4つの有人島は、島後と呼ばれる1つの島と、西ノ島、中之島、知夫里島の3つの島からなる島前とに大別される。それぞれの島の町村名は、隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村である。それぞれの面積は

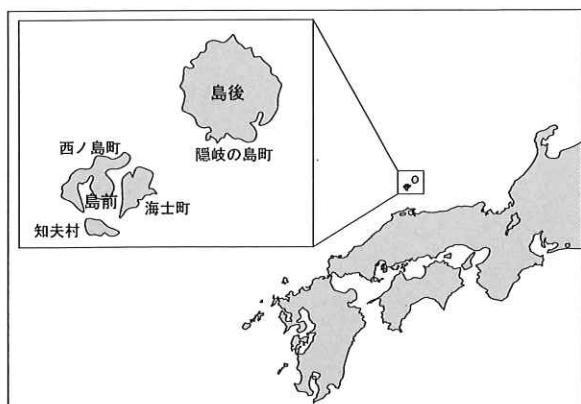


図1 調査地の位置

約243km²、約56km²、約34km²、約14km²で、もっとも標高の高い箇所は608m（大満寺山）、452m（焼火山）、家督山（246m）、324m（アカハゲ山）となっている。

今回の調査では、4つの有人島を対象とし、以下の地名には、それぞれの町村名を用いた。

調査方法

調査用リーフレットの作成と配布

島民などが参加して分布調査を行う市民参加型とするために、調査用紙を兼ねた調査用リーフレットを印刷し、島内の学校、公民館、図書館などに配布した（図2）。リーフレットはA3両面とし、片面には、オキタンポポなどの特徴、調査の方法、場所の記録など調査のポイントなどを示した。残りの片面は記録用紙とし、その部分を切り取って事務局に返送するようにした。主な記録項目は、調査年月日、タンポポがあった場所（住所、地図、緯度経度のいずれかを記入）、周辺の様子、花のかたち、花の色、タネの色とした。また、調査用紙には頭花とタネを貼り付けるようにした。頭花は、種類の確認と、雑種識別のための花粉採取用に、タネは外来タンポポの種類を識別するために用いた。

調査結果の整理

返送された調査用紙と頭花やタネのサンプルについては、以下のような手順で整理を行った。

- ①送付された調査用紙などを開封し、調査用紙、頭花（封筒に保存）、タネ（所定の用紙に貼付）に分け、それに同一の整理番号をふる。地図や住所のみの場合には、緯度経度を調べ、調査用紙に追加記入する。
- ②頭花から花粉を採取し顕微鏡で観察する。通常、オキタンポポの花粉は大きさがそろって均一にみえる。一方、外来種との雑種は、花粉の大きさにばらつきが生じる。オキタンポポは外来タンポポと雑種を作ることが知られている。
- ③送られてきた頭花とタネ、花粉の観察結果などを用いて、種類を決定する。
- ④上記の修正・加筆が終わった調査結果について、所定の入力ファイル（エクセルファイル）に入力する。また、調査場所の緯度経度をGIS（ArcGIS ver.10.0）上で展開し、分布図を作成する。

3. 結 果

調査が行われた地点

調査が行われてサンプルが採集された地点を図3に

調査のポイント

タンボボの見分け方

できるだけ緯度・経度を調べて記入ください。緯度・経度(世界測地系)は、携帯電話かGPSを使って調べるか、「国土地理院」のホームページの地図閲覧サービス「ウォッちず」(<http://watchizu.gsi.go.jp/mapsearch.html>)で検索してください。特に、携帯電話やカーナビ、インターネットの地図サイトでは日本測地系で緯度・経度が表示されるものがありますのでよく確認してから記入ください。

場所の記録方法

この調査では分図を作成するために、タンボボをった場所を特定する必要があります。場所が記録されていない直面紙は、せっかく送っていただいたとしても無駄になってしまいます。

ステップ1 住所を記入しよう

必ず住所をわかる範囲でお書きください(記入例: 隠岐郡隠岐の島町〇番地)。住所は場所の確認のために必要です。次に、下のⒶ～Ⓐの3つの方法のうちのどれかで場所を記録してください。

ステップ2-A 目印や地図で場所を記録しよう

場所が特定できるような目印を元に場所を記入してください(記入例: 崖岸の北岸の土手、法花大橋から100メートルほど上流)。簡単な地図を描いてください。

ステップ2-B 緯度・経度を記録しよう

メッシュ番号は「都道府県別メッシュマップ」(旧環境省発行)やホームページなどで調べることができます。

ステップ2-C メッシュ番号を記録しよう

世界で隠岐だけ! オキタンボボ!

隠岐はいまから約1万年前に離島となりました。島嶼に移り住んだ生物は、独自の進化をとげました。「オキタンボボ」、「オキノアザミ」、「オキサンショウウオ」などもそのひとつです。これらは、世界中で隠岐にしか見られない貴重なものです。

隠岐固有の生物が減っていることも、世界ジオパークを目指すうえで、大きな価値のひとつになっています。

わからないうちがあつたら

わからないうちがあつたら、困ったことがあります。三種自然までお問い合わせ下さい。

調査事務局

島根県立三瓶自然館
〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8
Tel. 0854-86-0500 Fax: 0854-86-0501

この調査での大切なポイントは2つです

Ⓐ 場所をはっきり記入する。
Ⓑ 花をティッシュに包んで 調査用紙といっしょに送る。

島根県立三瓶自然館(調査事務局) 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8
Tel. 0854-86-0500 Fax. 0854-86-0501

島根県環境生活部自然環境課
〒690-8501 島根県松江市段町1番地
Tel. 0852-22-6516 Fax. 0852-26-2142

隠岐ジオパーク推進協議会
〒695-8601 島根県隠岐郡隠岐の島町港町塩口24
Tel. 08512-9-9636 Fax. 08512-9-9626

協力: 隠岐自然保護部、島根大学生物資源科学部 林野研究室、タンボボ調査・西日本2010実行委員会

世界で隠岐だけ! オキタンボボ!

隠岐はいまから約1万年前に離島となりました。島嶼に移り住んだ生物は、独自の進化をとげました。「オキタンボボ」、「オキノアザミ」、「オキサンショウウオ」などもそのひとつです。これらは、世界中で隠岐にしか見られない貴重なものです。

隠岐固有の生物が減っていることも、世界ジオパークを目指すうえで、大きな価値のひとつになっています。

オキタンボボがピンチ?

隠岐の宝ともいえるオキタンボボ。

外来タンボボの侵入、土地の開発など、その生育には、大きな危機も忍び寄せています。

外来タンボボとの間に競争ができることがわかっています。

「オキタンボボのいま」調べよう!

今回の調査では、オキタンボボと外来タンボボが、どこに分布しているのかを調べます。

隠岐の自然やタンボボに興味がある方、授業で自然環境を調べてみたい方、子どもから大人まで誰でも参加できる調査です。

隠岐で見られるタンボボたち

隠岐では、オキタンボボのほか、外来種であるセイヨウタンボボ、アカミタンボボが確認されています。(他の種類のタンボボがある可能性もあります)

オキタンボボと外来種の種類も確認されています。

調査方法

朝早くや雨の日はタンボボが咲いていないので避けた方がいいよ。

タンボボが咲いている場所を見つけよう

けがしないように気をつけてね。

調査範囲: 隠岐郡隠岐の島町・西ノ島町
海士町・知夫村

その場所を記録しよう *詳しくは裏をごらんください。

A 目印と地図
たどり着ける場所を教えてね。地図をつけてくれると助かります。

B 緯度・経度
GPSやカーナビ
ホームページ

C 1kmメッシュ(三次メッシュコード)
メッシュ番号がついた地図が必要です。

住所を書いた上で、Aからのどの方向への方法で場所を必ず記録してください。

右の調査用紙に花の特徴やその場所の様子などを記録しよう

花用紙は、花ごとに一枚ずつ貼る。花の内側や外側をそのままは、花用紙を二つ重ねて貼ってね。

タンボボの花と花を採集しよう

タンボボの花は、花粉が落ちないようティッシュペーパーでそっとくるんで封筒に入れてください。

花は絶対に入れてね。

タネは調査用紙の右下にセロテープでとめてください。タネがとれなかった場合でも、花だけは必ず入れてください。

花袋は花が腐るので使わないでね。タネは花と同じ様のものとあってください。

タネをはった調査用紙と花を封筒に入れて、事務局の三瓶自然館に送ろう

何ヶ所か調査をしたものをまとめて送る場合は、調査用紙と花を入れた袋をホッチキスでとめてバラバラにならないようにして、大きめの封筒に入れて送ってね。

調査用紙の送り先 下の宛先の部分を切り取って、封筒にははってください
----- (切り取り枠) -----
〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8
島根県立三瓶自然館
「隠岐のタンボボを調べよう!」係
TEL 0854-86-0500 / FAX 0854-86-0501

準備するもの……

「隠岐のタンボボを調べよう!」調査用紙 調査期間: 4月25日～6月30日

1 頃べた日 2012年 ____ 月 ____ 日 No. _____ (用紙を複数枚提出していただく場合)

2 タンボボがあつた場所 住所: _____ 町・村 _____

*住所は必ず書いてください。できれば番地までお願いします。

(A) 目印または地図

(B) 緯度・経度

記入例	34.039871	度	34	度	02	分	24	秒
北	度	度	度	度	度	度	度	度
東	度	度	度	度	度	度	度	度

緯度・経度は世界測地系

(C) メッシュ番号

(目印の例: ○○小学校正門前、△△駅西側100m)

*住所を記入した上で、記入例裏のページを参考に、AからCのどれか一つを記入してください。

3 タンボボがあつた場所の様子 もちもちひらめきついでをつけてください。

1. 林の中のぼり 2. 泉の手すり 3. 川の河原や川岸 4. 田んぼや畑、果樹園、農道など 5. 神社や寺の境内
6. 公園・庭園・植え込み・グラウンド・団地・家の庭など 7. 道路沿い・分離帯 8. 駐車場・造成地
9. その他 ()

4 花(頃花)のかたち きれいに咲いている花の花被片(かみの部分)はどれに近いですか。

1. 花びら 2. 内部 3. 外部 4. 構造 5. 下にさかえる

5 花の色

1. 黄色	1. 茶褐色 (ミルクコーヒー色)
2. 白色	2. 赤褐色 (レンガ色)
3. わからない	3. タネがないのでわからない

*花の色、タネの色は、もっとも近い番号に○をつけてください。

6 タネの色(花が黄色のとき)

種名	
1. 花	有・無
2. タネ	有・無
3. 花とタネ	均一・バラバラ

7 調査をして気のついた点や感想、連絡先をお書きください。 *この欄を複数枚提出する場合あります。

感想
名前 (所属・学校)
住所 _____ 電話番号 () -

調査用紙はデータ処理の都合もありますので、7月10日までに三瓶自然館にお送りください。

必ず、花をティッシュで包んで同封してください。

タネのはり付け場所

ここに花と同じ様のタネをセロテープではってください。タネがなければかまいません。

図2 調査用紙

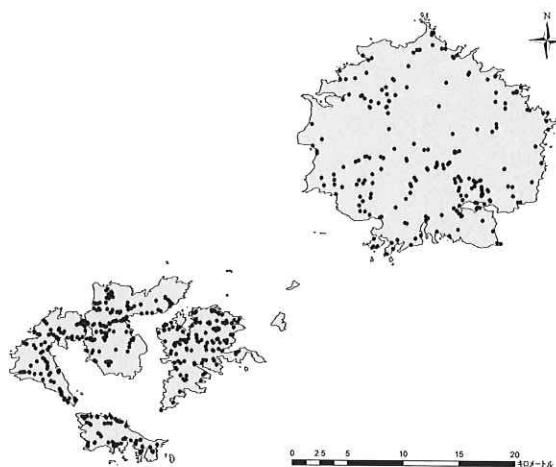


図3 調査が行われた地点

示した。隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村のいずれでも調査が行われており、サンプル数はそれぞれ、237個、237個、152個、72個であった。

確認されたタンポポの種類

今回の調査では、在来種であるオキタンポポ、外来種であるセイヨウタンポポとアカミタンポポが確認された。また、オキタンポポと外来タンポポの雑種とみられるタンポポもみられた。それぞれのタンポポの特徴は以下のとおりである。

オキタンポポ

頭花は黄色で、直径は3.0~4.0cm。総苞外片は反り返らず、内片に沿う（写真1）。隠岐諸島にだけ分布する固有種である。セイヨウタンポポやアカミタンポポと雑種をつくることが知られている。

セイヨウタンポポ

頭花は黄色で、直径は3.5~4.0cm程度であるが、まれに5.0cmになる（写真2）。総苞外片は著しく反り返る。タネの色は淡褐色である。原産地はヨーロッパである。

アカミタンポポ

頭花は黄色で、直径は3.5~4.0cm程度であるが、まれに5.0cmになる（写真3）。総苞外片は著しく反り返る。タネの色は赤褐色である。原産地はヨーロッパである。

雑種とみられるタンポポ

上記のほか、雑種とみられるタンポポも確認されている。通常、オキタンポポの花粉は大きさがそろって均一にみえる。一方、外来種との雑種は、花粉の大きさにばらつきが生じることが知られている（タンポポ調査・西日本2010実行委員会、2011）。全てのサンプルの花粉を顕微鏡で観察して、外見はオキタンポポに



写真1 オキタンポポ



写真2 セイヨウタンポポ



写真3 アカミタンポポ

みえるが、花粉の大きさにばらつきがあるものを「雑種とみられるタンポポ」とした。なお、花やタネの形態から外来タンポポに見えるタンポポにも、在来タンポポと外来タンポポの間にできる雑種タンポポが多く含まれているが（芝池・森田、2002），今回の「雑種とみられるタンポポ」には含めていない。

種類別・町村別の内訳

町村別、種類別の内訳を表1に示した。また、種ごとの分布は図4～図7に示した。

確認されたタンポポの内訳は、オキタンポポが最多で602個、続いて外来種のセイヨウタンポポが66個、同じ外来種のアカミタンポポは1個のみであった。タネがなく同定できなかった外来種不明を加えると、外

来種は約80個であった。外見上はオキタンボポであるが、花粉にばらつきが多いものを「雑種とみられるもの」とし、18個がこれに該当した。

町村別のサンプル数は、隠岐の島町および西ノ島町

で237個ずつであった。海士町は152個、知夫村は72個であった。いずれの町村でも、もっとも多く確認されたのはオキタンボポで、次いでセイヨウタンボポが多い傾向にあった。

表1 種類別・町村別のサンプル数

種類	サンプル数	町村別の内訳			
		隠岐の島町	西ノ島町	海士町	知夫村
オキタンボポ	602	205	209	133	55
セイヨウタンボポ	66	21	19	11	15
アカミタンボポ	1	1			
外来種不明	11	6	4	1	
雑種とみられるもの	18	4	5	7	2
合計	698	237	237	152	72

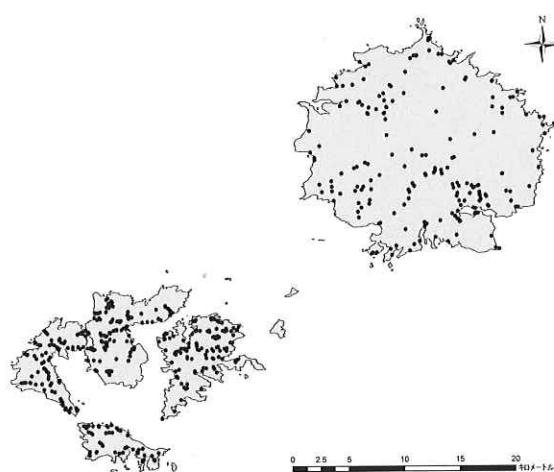


図4 オキタンボポの分布

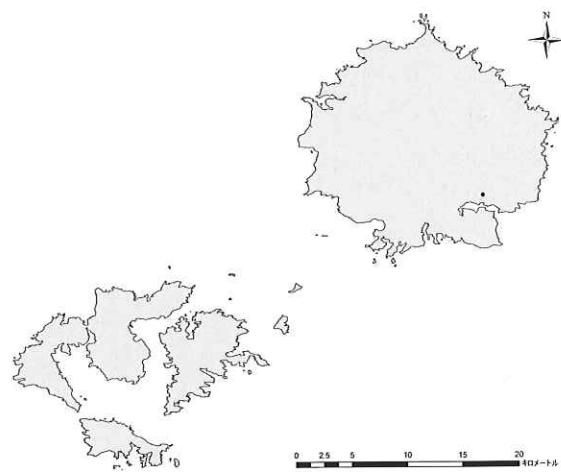


図6 アカミタンボポの分布

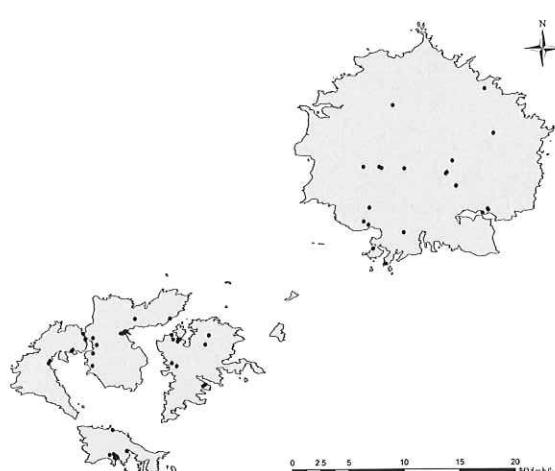


図5 セイヨウタンボポの分布

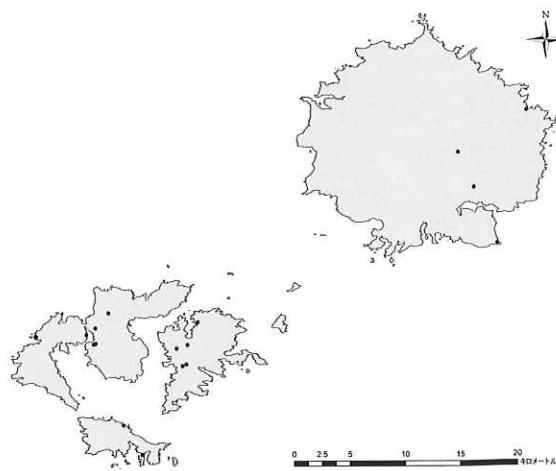


図7 雜種とみられるタンボポの分布

オキタンポポは、4つの町村のいずれでも、島の全域にわたって確認された(図4)。ただし、隠岐の島町における大満寺山系周辺、北山山系周辺など、西ノ島町における焼火山系などのように、まとまった山系では、まばらな傾向にあった。セイヨウタンポポは、隠岐の島町では、西郷や都万などの市街地のほか、山中でも点々とみられた(図5)。西ノ島町では別府、美田、浦郷など、海士町では菱浦など、知夫村では知夫など、いずれも集落がまとまった箇所でみられた。アカミタンポポは、隠岐の島町の西郷1箇所で確認された(図6)。雑種とみられるタンポポは、4つの町村で点々と確認された。

タンポポの生育環境

タンポポがみられた場所の生育環境について、種ごとに整理した(表2)。オキタンポポは、「公園・庭園・植え込み・グラウンド・団地・家の庭など」での確認が多く、続いて「神社や寺の境内」「駐車場・造成地」「川の堤防や川原」の順であった。セイヨウタンポポもオキタンポポとほぼ同じ生育環境で確認される傾向にあり、これらの種の間で、生育環境には大きな差違はみられなかった。

4. 考察

外来タンポポの比率の比較

2005年と2010年に県全体を対象とした調査では(島根県立三瓶自然館・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団, 2005; 藤矢, 2007; タンポポ調査・西日本2010実行委員会, 2011; 井上ほか, 2012), 外来タンポポが60%以上を占めていた(表3)。一方、今回の隠岐諸島における調査ではオキタンポポの比率が高く、外来タンポポの割合は1割程度であった。今回のような市民参加型の調査では、在来タンポポが優先的に調べられる傾向がある。そのため、実際にはさらに多くの場所に外来タンポポが侵入している可能性があり単純な比較はできないものの、外来タンポポの侵入の程度は、本土側に比べると低いものと考えられた。

また今回の調査では、雑種とみられるタンポポが18サンプルみられ、その比率は2.6%であった。島根県における在来タンポポの種類としては、本土側ではヤマザトタンポポ(ケンサキタンポポを含む)やクシバタンポポが、隠岐諸島ではオキタンポポが中心である(枚村, 2005; 井上ほか, 2009; 井上ほか, 2012; 丹後, 2011; 井上, 2014), これらのうち、ヤマザトタンポポ,

表2 タンポポが確認された生育環境

種類	生育環境								
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
オキタンポポ	27	6	28	20	63	345	5	47	27
セイヨウタンポポ				2	3	16	32	7	4
アカミタンポポ						1			
外来種不明	1					2	4	2	
雑種とみられるもの		1				6	9		1
合計	28	7	30	23	88	390	14	52	28

A:林や林のそば B:池の土手 C:川の堤防や川原 D:田んぼや畑、果樹園、農道など
E:神社や寺の境内 F:公園・庭園・植え込み・グラウンド・団地・家の庭など
G:道路沿い H:駐車場・造成地 I:その他

表3 既存のタンポポ調査との比較

区分	今回の調査		2010年調査 ^{※1}	2005年調査 ^{※2}
	対象:隠岐諸島	対象:島根県		
在来タンポポ	602 (86.2%)		1,105 (37.8%)	283 (39.6%)
外来タンポポ	78 (11.2%)		1,820 (62.1%)	431 (60.4%)
雑種とみられるもの	18 (2.6%)		-	-
その他	-		2 (0.1%)	-
合計	698		2,927	714

※1 タンポポ調査・西日本2010実行委員会(2011)

※2 島根県立三瓶自然館・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団(2006)

クシバタンボボは倍数体であるが、オキタンボボは二倍体である。二倍体のタンボボは、外来タンボボと交配し雑種を作ることが知られている（タンボボ調査・近畿2005実行委員会、2006）。隱岐諸島では、外来タンボボの侵入によって、生育地の競合だけでなく、雑種の形成も生じており、在来タンボボであるオキタンボボへの大きな脅威となっている。

分布状況からみた対策案

オキタンボボが島内各所に分布するのに対して、外来タンボボの分布は、港や市街地、道路沿いなどが中心であった（図5、図6）。隱岐の島町では、西郷港周辺と都万などを中心に外来タンボボが確認されている。さらに、山中でも道路などに沿って点在していることが明らかになった。大満寺山系では、砂防ダムの法面でセイヨウタンボボがみられるなど、山中であっても工事や改変などにより外来タンボボが持ち込まれることが示唆された。西ノ島町、海士町、知夫村でも、別府港、菱浦港、来居港などの港湾周辺で、外来タンボボが確認されている。港以外では、いずれもまとまつた集落がある場所に分布していた。

このように、外来タンボボは、港や市街地を中心には分布していることが明らかになった。現在、地元の隱岐世界ジオパーク推進協議会などを中心に、外来タンボボの駆除が行われているが、このような場所で駆除作業などを続けていくことは、分布拡大を抑制することに効果があるとみられる。

謝 辞

本調査は、隱岐諸島の住民の方をはじめ、調査に参加して下さった多くの方から送られた調査結果により可能となったものである。調査に参加下さった方々に厚くお礼申し上げる。また、調査用紙の作成にあたってはデータを提供いただいたタンボボ調査・西日本実行委員会、調査用紙の配布などでは隱岐世界ジオパーク推進協議会に、得られた調査データを本報告に用

いることにご理解をいただいた島根県環境生活部自然環境課に、お礼申し上げる。

引 用 文 献

- 原沢伊世夫・山田卓三（1975）タンボボ属の生態学的研究 I. 東京周辺における都市化とタンボボの分布. 東京学芸大学紀要 6: 28-38.
- 井上雅仁・松村美雪・野上篤孝（2009）枚村喜則氏収集植物標本目録(I). 173pp. 島根県立三瓶自然館・財団法人しまね自然と環境財団、島根。
- 井上雅仁・松村美雪・中西正実・柳浦正夫（2012）タンボボ調査・西日本2010で確認された島根県のタンボボについて. 島根県立三瓶自然館研究報告 10: 9-18.
- 井上雅仁（2014）枚村喜則氏収集植物標本目録(II). 207pp. 島根県立三瓶自然館・公益財団法人しまね自然と環境財団、島根。
- 根平邦人・瀬川道治・小川祐子・金田典子（1977）広島市におけるタンボボ類の分布状況. 植物と自然 11 (2): 18-20.
- 隠岐自然館（2006）オキタンボボと外来タンボボ. 19pp. 隠岐自然館、島根。
- 芝池博幸・森田龍義（2002）拡がる雑種タンボボ. 遺伝 56 (2): 16-18.
- 島根県立三瓶自然館・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団（2006）みんなで調べる島根の自然 タンボボ調査2005 しまねのタンボボ. 36pp. 島根県自然環境課・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団、島根。
- 枚村喜則（2005）島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告 3: 1-49.
- 丹後亜興（2011）オキタンボボはなぜ貴重か. 隠岐の文化財 28: 1-8.
- タンボボ調査・近畿2005実行委員会（2006）タンボボ調査・近畿2005報告書. 69pp. タンボボ調査・近畿2005実行委員会、大阪。
- タンボボ調査・西日本2010実行委員会（2011）タンボボ調査・西日本2010報告書. 144pp. タンボボ調査・西日本2010実行委員会、大阪。
- 葭矢崇司（2007）島根県内のタンボボ分布調査について. 島根県立三瓶自然館研究報告 5: 7-11.